

## ◆ 今週のコメント

- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は7.41(304例)です。平成25年に受け付けた感染性胃腸炎の検体から、ノロウイルスGⅡ型が4件、アデノウイルス40/41型が1件検出されています。
- ・ 水痘の定点当たり報告数は1.05(43例)で、過去5年平均値を上回っています。
- ・ マイコプラズマ肺炎の報告が1例あります。全国の定点当たり報告数は0.77で、平成24年第46週(11月12日～11月18日)の1.32をピークに増減を繰り返しながらも減少しています。しかし、昨シーズン(平成23年/平成24年シーズン)と同様、過去10年間の同時期としては高い状態が続いています。

## ◆ 今週のトピックス:<インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は31.22(2,092例)で、前週 24.12(1,616例)の約1.3倍に増加し、警報レベルの「30」を上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 4例(肺結核 2例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例  
【1月以降の累積報告数 20例(肺結核 13例, その他結核 4例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 8例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点67, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	31.22	2092
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.41	304
	② 水痘	1.05	43
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.63	26
	④ RSウイルス感染症	0.32	13
	⑤ 突発性発しん	0.27	11
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

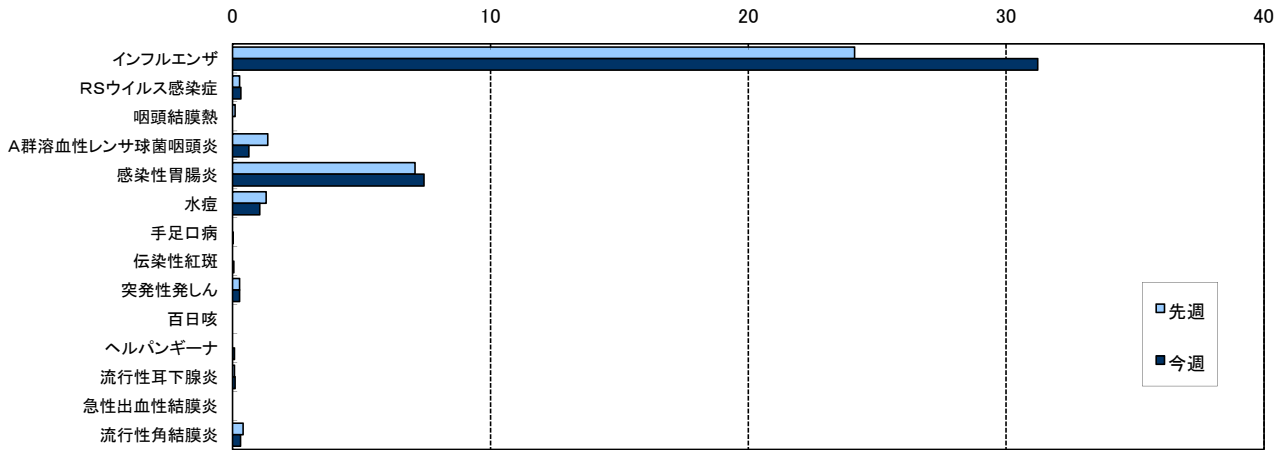
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<インフルエンザ>

(注)京都市のデータは、平成25年2月7日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

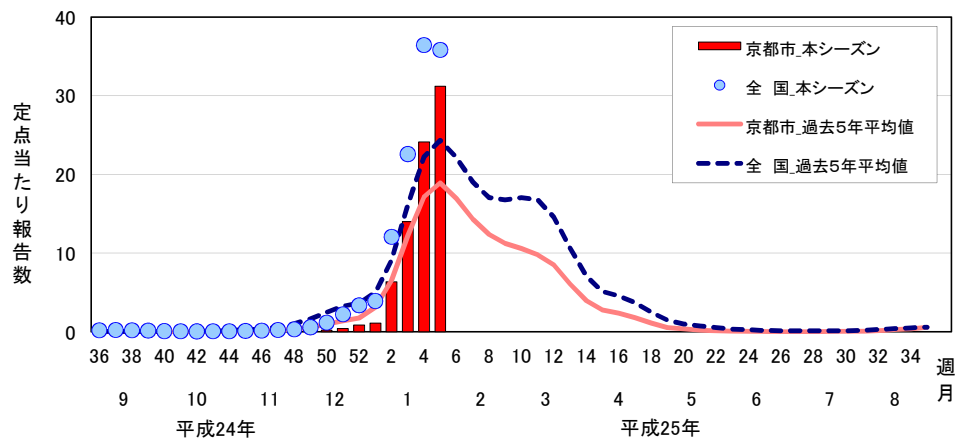
# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第5週)と先週(第4週)の定点当たり報告数の比較



## 2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第1週	73
第2週	425
第3週	939
第4週	1616
第5週	2092
累積報告数 (第36週以降)	5259

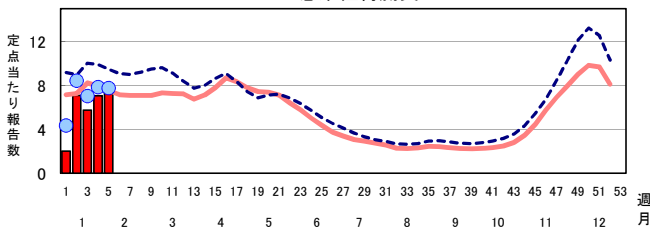


\*平成21年/22年シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009の影響で、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

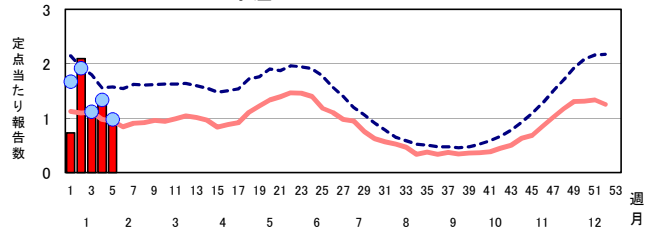
## 3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

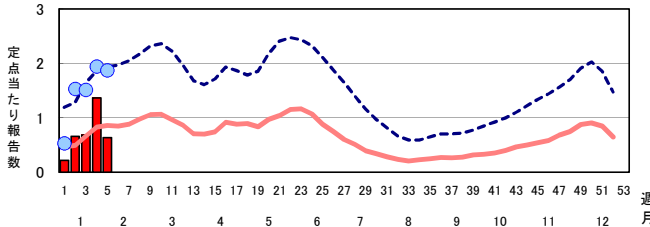
1 感染性胃腸炎



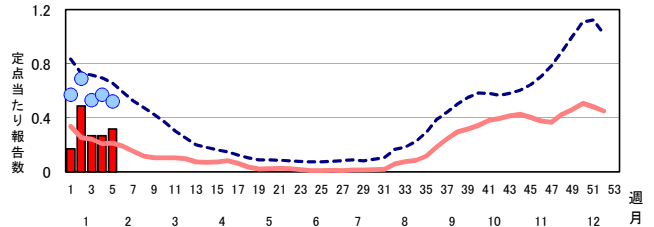
2 水痘



3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



4 RSウイルス感染症



<眼科定点>

流行性角結膜炎

